

モニタリング結果報告書

施設 柳島青少年キャンプ場

指定管理者 (社)神奈川県青少年協会

施設所管課 青少年課

(平成22年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
10月	11月10日	11月15日	改善すべき業務等なし
11月	12月3日	12月6日	改善すべき業務等なし
12月	1月7日	1月11日	改善すべき業務等なし
1月	2月3日	2月7日	改善すべき業務等なし
2月	3月10日	3月18日	改善すべき業務等なし
3月	3月31日	3月31日	改善すべき業務等なし

2 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る B: 提案どおり C: 提案を下回る

(2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。

< 提案内容の概要 >

キャンプ場で行う自主事業について、これまでは、無料でやってきたが、利用者から材料費程度の実費を徴収した上で、魅力ある事業を展開する。

< 実施状況 >

12月 自主事業「クリスマス子どもあそび体験キャンプ(1泊2日)」参加者 43名

3月 自主事業「忍者あそび体験キャンプ(1泊2日)」参加者 43名

上記事業等の実施により、県民に気軽に野外活動を体験する場を提供することができた。

特に、小学生を対象としたキャンプ体験事業は、参加者の保護者から「参加している子どもが生き生きしていた」という感想をいただくなど、好評であった。

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額) その他収入		
年間予算額	14,409	12,884	— 1,525	14,409	0
上半期計 (a)	7,742	7,365	— 377	6,201	1,541
下半期計 (b)	5,961	5,519	— 442	6,004	△ 42
10月	3,146	3,116	— 30	1,169	1,976
11月	16	0	— 16	870	△ 854
12月	202	0	— 202	1,786	△ 1,584
1月	2,410	2,403	— 7	940	1,470
2月	152	0	— 152	789	△ 636
3月	32	0	— 32	447	△ 414
合計 (a+b)	13,704	12,884	— 820	12,205	1,499

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

消耗品費や旅費等、経費節減を行った結果、年間の収支に差額が生じている。

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況		
	該当なし	
支出の状況		
積立等の状況		(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	12,391 人	11,286 人	9.8%
下半期計 (b)	5,148 人	4,917 人	4.7%
10月	1,015 人	1,183 人	△14.2%
11月	1,147 人	936 人	22.5%
12月	1,136 人	580 人	95.9%
1月	1,042 人	432 人	141.2%
2月	426 人	428 人	△0.5%
3月	382 人	1,358 人	△71.9%
合計(a+b)	17,539 人	16,203 人	8.2%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

〔子どもを対象としたキャンプ等の自主事業や職員対応の効果で、利用者が増加したものと思われる。一方、3月は大地震の影響でキャンセルが発生したことにより、利用者数が前年よりも減少した。〕

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	1	1
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	5	5
3月	0	0	0	0	0	0

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者へ評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・特筆すべきものなし	
	・	
職員対応	・特筆すべきものなし	
	・	
事業内容	・特筆すべきものなし	
	・	
その他	・特筆すべきものなし	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

発生日	概要・対応状況等
月 日	該当なし
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日	実施なし		
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設の維持管理、運営に関する業務につき、計画通り実施した。 利用者数は、震災の影響はあったものの、合計では前年同期を上回り、また、年度合計の利用者数も前年を上回った。 子どもを対象としたキャンプ等の自主事業には多数の参加者があり、好評であった。 今期で指定期間は終了したが、無事に業務を終えることができた。
施設所管課	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理業務を着実に実施した。 施設の老朽化等が進む中、丁寧な職員対応や工夫を凝らした自主事業の実施に努めたことが、利用者の増加に繋がったと考えられる。 利用者アンケートでも職員対応について高い評価を得た。 経費節減に努める一方、利用者の安全確保のため、施設・設備の点検を滞りなく行い、5年間の指定期間を大きな事故等無く終了した。